

第1号議案

令和4年度事業報告

一般社団法人大村市観光コンベンション協会の令和4年度事業報告につきましては事業計画に基づき実施しました。その概要を次のとおり報告します。

観光部門

1. 観光の活性化と集客対策について

イベント事業			事業費29,963,599円
	事業費	内 容	
花まつりボンボリ設置及び警備員配置 (3月25日～6月20日)	1,075,691円	花まつり期間中、大村公園内にボンボリを設置し夜11時までライトアップを行い観光客誘致に努めました。また、桜・花菖蒲の時期に公園内の駐車場等に警備員を配置し車の誘導及び安全確保に努めました。	
大村桜まつり「シュガーロード(長崎街道)大村すい～つ祭り」『さくらカフェ』 [3月27日(日)] 会 場 大村公園 第3駐車場	466,418円	桜の時期のイベントとして大村桜まつり「シュガーロード(長崎街道)大村すい～つ祭り」『さくらカフェ』を昨年に引き続き、大村公園第3駐車場で行いました。桜の開花が年々早まっていることから本年より3月最終日曜の開催といたしました。同時開催の大村フラワー大使選彰式では2023年度大村フラワー大使「おおむら桜楠 ここのさん」、「花菖蒲 池田 美貴さん」を披露しました。	
花菖蒲まつり [6月5日(日)] 会 場 大村公園第3駐車場 中止	293,228円	花菖蒲の時期のイベントとして「花菖蒲まつり」を大村公園第3駐車場で予定しておりましたが、雨天のため中止といたしました。	
新大村駅 GO!GO!フェスタ	447,492円	9月23日に開業した西九州新幹線の開業1ヶ月イベントとして、新大村駅東口イベント広場にて行いました。ステージイベントでは、近隣の保育園の園	

		児による歌やダンスの披露に加え、フラダンス、琉球國祭り太鼓などが行われ盛り上がりを見せました。
おおむら夏越花火大会 [8月1日(月)] 会 場 ボートレース大村	26,280,770円	今回は70回目の節目の年ということで、文化庁からの助成金を活用し、ステージイベントのほかおよそ5,000発の花火を打ち上げました。
ご当地自慢グルメフェアinおおむら [11月13日(日)] 会 場 ボートレース大村 第5駐車場 来場者数 9,000人	1,400,000円	本年も「おおむら秋まつり」と同時開催とし、ボートレース大村第5駐車場にて開催いたしました。 当日は天候もよく多くの方にお越しいただきました。出展の参加店舗については県内より45店舗にご出店いただきました。販売食数は12,005食、売上合計が4,893,650円となりました。 ステージイベントでは、くじら太鼓の披露や黒丸踊などの郷土芸能のほか、グルメまき大抽選会などを行い盛り上がりしました。

歴史観光立市推進事業		
		事業費 1,035,500 円
まちなか観光推進事業	大村観光周遊バス 参加者 255名 桜さるく 4月9日(土) 参加者 17名 花菖蒲さるく 中止	3年ぶりに桜と花菖蒲の時期に周遊バスを運行しました。桜の時期は大村公園と裏見の滝自然花苑を巡る「花満喫コース」、花菖蒲の時期はボートレース大村や新大村駅、長崎空港花文字山を巡る「大村はじまりの地コース」として実施しました。 桜さるくについては17名の方にお越しいただき大村公園内の桜について知っていただく機会となりました。 花菖蒲さるくについては雨天の為、中止と致しました。 また、大村公園マップの改定や新大村駅周辺マップなどを作成し大村市内の観光

着地型観光推進事業	事業費 8,697,728円
-----------	----------------

① アクティビティ開発事業	大村湾など大村市内のアクティビティスポットの開発として、元氣工房協力のもと森園公園と野岳湖公園にて、カヤック・サップのアクティビティイベントを行いました。合計 200 名を超える参加があり、マリンアクティビティの人気の高さを改めて感じました。 市外の親子連れをターゲットにしていたのですが、広報が行き届かず市内の方の参加がほとんどでした。 イベント定着させていくのであれば会場の整備なども今後考えていく必要があると感じました。
② 大村の食と歴史事業	アフターコロナを見据えた純忠御膳の拡販と、夜型観光の推進として事業に取り組みました。 提携店舗については 10 店舗に加え梅ヶ枝荘にご加入いただきました。 また、夜型観光の推進として、大村神社のライトアップイベントを 3 日間行いました。期間中は延べ 1,100 人を超える来場者数があり、普段と違う大村神社を楽しんでいただきました。

収益事業		事業費 669,577円
レンタサイクル事業	大村公園・武家屋敷周辺のまちなか観光を楽しんでもらうために観光センター内に電動自転車 3 台を設置し、貸し出しを行いました。 延べ利用台数 69 台	
観光センター賃貸事業	観光センター内に食堂(長浜ラーメン大吉・ちゃんぽん幸楽)、いなほ焼きを出店し、観光客へのおもてなしとサービス向上に努めました。	
自動販売機設置事業	観光センター周辺、市内の公園等に自動販売機 19 台を設置し、観光客へのサービス向上に努めました。	
旅行代理店事業	関係各所の旅行の手配を行ったほか、コンベンションの大会、合宿の宿泊手配などを行い収益につなげました。 また、玖島城の御城印を作成し、合計520枚販売しました。期間限定で、限定版も作成したことで購入希望や、郵送希望の方も増加しました。	
おおむら暮らしサポートプロジェクト	大村市でのワーケーションや移住・定住を目的とした宿泊サポート「おおむら暮らしサポートプロジェクト」を今年度より大村市企画政策課地方創生推進室から受託しました。 コロナの影響もあり8月中旬からのスタートで 13 組の方にご利用いただきました。 事業では、宿泊手配のほか、「オオムラトリセツ」として利用者の方へ大村市内を案内するツアーを実施いたしました。	

2. 観光宣伝の取り組みについて

大村フラワー大使選彰事業		事業費 1,184,498円
2022 年度大村フラワー大使選彰	12 月下旬から募集を始め 2 月 6 日(日)審査会を開催しました。「おおむら桜」に楠 ここのさん、「花菖蒲」に池田 美貴さんを決定しました。大村フラワー大使両名は1年間イベントや公式行事へ37回出席するなど精力的に観光宣伝に努めました。	
観光宣伝事業		事業費 820,317円
おおむら花まつり等大村の観光宣伝	大村フラワー大使、による観光宣伝隊として4月から6月には「桜・花菖蒲」のPRを県内テレビ・ラジオで行いました。	
ホームページの充実	当協会のホームページの中で花情報、イベント等の最新の情報を全国に発信しました。	

3. 業務委託について

新大村駅観光案内所事業		事業費 2,196,353円
新大村駅観光案内所運営	大村市観光振興課より受託し、新大村駅観光案内所にスタッフを3名配置しました。 新幹線をご利用のお客様に大村の観光情報等の提供を行いました。	

4. 組織活動の活性化について

- (1)理事会については、必要に応じ定例会を開催し、協会の運営並びに各担当委員会における事業の経過報告を行うなど積極的に行動しました。
- (2)専門委員会である組織活性化委員会、観光政策委員会、イベント企画・運営委員会、コンベンション誘致・運営委員会では、それぞれの専門分野において積極的な事業の推進と活性化に努めました。

5. 会議等の開催について

通常総会開催の外、理事会 2回、三役会5回、イベント企画・運営委員会 5回を開催するなど、当協会の円滑な業務運営に努めました。

6. 各種行事等への参画、協賛

おおむら夏越まつりをはじめ、おおむら秋まつり等についても観光コンベンション協会として参画し、協賛に努めました。

7. 関係機関及び団体との協調提携について

- (1) 国道34号線等大村市内幹線道路整備促進期成会
- (2) 大村市姉妹都市親善協会
- (3) 大村市日中親善協会
- (4) (一社)長崎県観光連盟
- (5) 歴史を活かしたまちづくり戦略協議会
- (6) おおむら夏越まつり協賛会
- (7) おおむら秋まつり協賛会
- (8) 長崎県スポーツコミッション
- (9) 大村市観光関連団体連絡協議会
- (10) 大村市新幹線開業アクションプラン推進協議会

コンベンション部門

令和4年度

コンベンション誘致事業		事業費 3,069,765円
誘致活動	県外へ誘致活動を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により大会開催自体の再開が見えず中止といたしました。 その分県内の誘致活動として、ソフトボールなどの強豪競技や施設が充実しているバドミントン等競技ごとに各協会と連携しアプローチを行いました。	
広告宣伝	① 協会会報誌を年2回発行し、県内外のコンベンション協会、会員皆様へ当協会の事業活動報告を行いました。 ② 当協会のホームページにより旬の観光、コンベンション情報を発信しました。 ③ 会議資料等を入れる手提げバッグはビニールタイプの増刷を行いました。	
支援活動	① 開催助成金 2,000,000円 ウィズコロナの動きが活発になり、年度の後半からバドミントンのS/Jリーグやソフトボール男子全国選抜大会など全国大会規模の大会が開催されました。 (別添交付実績書のとおり) ② 歓迎看板を作製し各種大会へ提供しました。 ③ 大会主催者へ観光パンフ、手提げバックの提供を行いました。	